

躍進する雪組コンビが
熱く華麗な傑作を熱演!

宝塚歌劇

雪組

全国ツアー 新潟公演



110th
TAKARAZUKA REVUE



〈主演〉朝美絢、夢白あや

ミュージカル 仮面のロマネスク

～ラクロ作「危険な関係」より～

脚本／柴田俊宏 演出／中村暁

近代フランス心理小説の傑作でありながらも、そのスキャンダラスな題材ゆえに世間から長く異端視されたラクロの「危険な関係」を原作としたラブ・ストーリー。1997年に高嶺ふぶき、花總まりにより初演、その後再演を重ねてきた宝塚歌劇の名作の一つです。動乱に揺れる1830年のフランス宮廷を舞台に、周囲の女性たちを次々と虜にしていく美貌の青年貴族ヴァルモンと若き未亡人メルトウイユ侯爵夫人の冷徹で官能的な大人の恋の駆け引きを描く物語において、心に仮面を被らなければ生きられない二人の姿を重厚かつ華麗に描き出します。



©宝塚歌劇団

※写真は公演内容とは異なります。

2024.4.25 木 新潟県民会館大ホール

昼の部 13:30開演 夜の部 18:00開演

開場は各開演時間の30分前。公演時間は約3時間(休憩含む)予定。

一般発売日 1月30日(火)

S席 8,300円 (1階全席、2階7列目まで)

A席 6,500円 (2階8列目以降)

※未就学児入場不可。保育ルームの設置はありません。

※車イス席(8,300円)は一般発売日以降に新潟県民会館へお問合せください。

※ご予約・ご購入後のキャンセル・変更はできません。

主催: TeNYテレビ新潟/(公財)新潟市芸術文化振興財団

新潟県民会館(電話025-228-4481・窓口)

りゅーとぴあ(オンライン・電話025-224-5521・窓口)

ローソンチケット(Lコード:34841)

チケットぴあ(Pコード:523-629)

※新潟県民会館・りゅーとぴあでは発売初日の窓口販売はありません。残席がある場合は翌営業日より取扱い開始となります。※りゅーとぴあ(電話・窓口)は11:00~19:00・休館日除く

りゅーとぴあ会員先行発売 [1月19日(金)11:00~]

◆りゅーとぴあチケット専用ダイヤル ◆りゅーとぴあオンラインチケット
025-224-5521 https://piagetti.s2.e-get.jp/ryutopia/pt/
(11:00~19:00・休館日除く)



電話予約
お問合せ

TeNYチケット専用ダイヤル
(平日10:00~17:30) 025-281-8000

新潟県民会館 025-228-4481 ※発売初日は
10:00から受付

宝塚歌劇団 雪組
朝美 純 (あさみ じゅん)

神奈川県出身。2009年『Amour それは…』で初舞台。同年月組に配属。2014年『PUCK』、2015年『舞音-MONON-』で新人公演主演。2017年雪組に組替え。2018年パウホール公演『義経妖狐夢幻桜』ヨシツネ役で単独初主演。同年『ファンタム』では、ヒロインに思いを寄せるフィリップと、オペラ座の新しい支配人、アラン・ショレを役替わりで演じた。2020年1月『ONCE UPON A TIME IN AMERICA』では潛り酒場の歌姫、キャロルを妖艶且つ華やかに、一方で恋人マックスへの愛を繊細に表現した。2021年1月『fff - フォルティッシュシモ -』では、主人公ベートーヴェンと対照的に幸せの中に生きるゲルハルト役を温もりのある演技で見せた。5月パウホール公演『ほんものの魔法使』のアダム役で主演。“魔法”を題材としたファンタジー作品を確かな実力で見事に描き出し、好評を博した。8月『CITY HUNTER』では、浮羽獠とかつてのパートナーを組んでいたアメリカ人スイーパー、ミックを好演。2022年3月『夢介千両みやげ』の総太郎役では、江戸、飛脚問屋の放息子を個性的な役割りで飘々と演じ、客席を沸かせた。7月梅田芸術劇場公演『ODYSSEY - The Age of Discovery -』では、太陽の神アボロン役として各場面を活気づけた。10月『蒼穹の昴』では李春児役。貧しい農民の子、李春児が宦官として激動の時代を逞しく生き抜いていく姿を、義兄弟の誓いを交わした梁文秀への愛情を滲ませつつ熱演した。2023年2月KAAT神奈川芸術劇場公演『海辺のストルーエンセ』の主人公ヨハン・ストルーエンセを演じる。18世紀デンマーク王国で、官廷の専属医となったヨハンの野心と渴望を、ダイナミック且つ抒情的に表現し作品世界を鮮やかに描き出した。4月『Lilac の夢路』では役所に勤めるドロイゼン家の次男フランツ役。兄ハインドリヒを尊敬しながらも無謀にも思える行動に反発してしまうフランツの複雑な心情を、深みのある芝居で見せた。



© 宝塚歌劇団

宝塚歌劇団 雪組
夢白 あや (ゆめしろ あや)

東京都出身。2017年『Dramatic "S"!』で初舞台。同年、宙組に配属。『神々の土地』新人公演で、主人公が秘かに思いを寄せる大公妃イリナ役に抜擢され、一躍注目を集め。2018年『異人たちのルネサンス』新人公演のカテリーナ役、続く2019年『オーシャンズ11』新人公演のテス役でもヒロインを務める。同年、『リッツ・ホテルくらいに大きなダイヤモンド』でパウホール公演初ヒロイン。浮世離れした美しい令嬢キスミンを瑞々しく好演した。2020年9月、雪組に組替え。2021年8月『CITY HUNTER』では、クーデターを逃れ日本にやって来た王女アルマ役。気品ある佇まいの中に、主人公への淡い恋心を滲ませた。2022年1月パウホール公演『Sweet Little Rock 'n' Roll』では、好きな相手に素直になれないヒロイン、シンディーを流麗と演じた。3月『夢介千両みやげ』では、貧しい暮らしを支えるために健気に働く少女、お糸を愛らしく表現した。7月シアター・ドラマシティ公演『心中・恋の大和路』の梅川役で名作のヒロインに挑戦。破滅の道を突き進む遊女を情感豊かに演じる。10月『蒼穹の昴』では、清朝を取材する外国人記者たちと行動を共にする謎の女性、ミセス・チャン(寿安)を艶やかに演じた。2023年2月御園座公演『BONNIE & CLYDE』より彩風咲奈の相手役を務める。主人公クライドと恋に落ち、逃避行を共にするボニーの危うさや一途さ、時に狂気を孕んだ様をインパクトある演技で見せ観客を魅了、好評を得た。4月『Lilac の夢路』では、職業音楽家を目指す女性エリーゼが困難にぶつかりながらもハインドリヒと支え合い、前向きに生きる姿を可憐に演じた。



© 宝塚歌劇団